

< 参考資料 >

福島第一原子力発電所 敷地境界連続ダストモニタ警  
報発生について（モニタリングポスト 8近傍）

---

2016年8月26日

東京電力ホールディングス株式会社

**TEPCO**

## 時系列

---

2016年8月25日（木）

12時48分 モニタリングポスト 8（MP-8）近傍の連続ダストモニタ「高」警報が発生

（警報値： $1.0 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$ ）

モニタリングポスト、その他ダストモニタの指示値に変動なし

風向：南南東からの風（構外からの風）、風速：6.1m/s

（気温 約28度 湿度約77%）

13時36分 警報クリア（最大値は $1.81 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$ ）

13時33分 当該連続ダストモニタ付近にて手引きダストフィルタで集塵（20分間）  
\*

13時48分 当該連続ダストモニタのろ紙を回収\*

14時36分 当該連続ダストモニタを予備機と交換完了（運転開始）  
運転開始後は、通常値の値で推移している。

原因については、現在調査中。

< \* ガンマ核種分析結果 >

- 当該連続ダストモニタに使用していたろ紙：検出なし
- 手引きダストフィルタでの集塵：天然核種である鉛-210（ $1.4 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$ ）以外検出なし

## 発生時の状況および今後の原因調査について

---

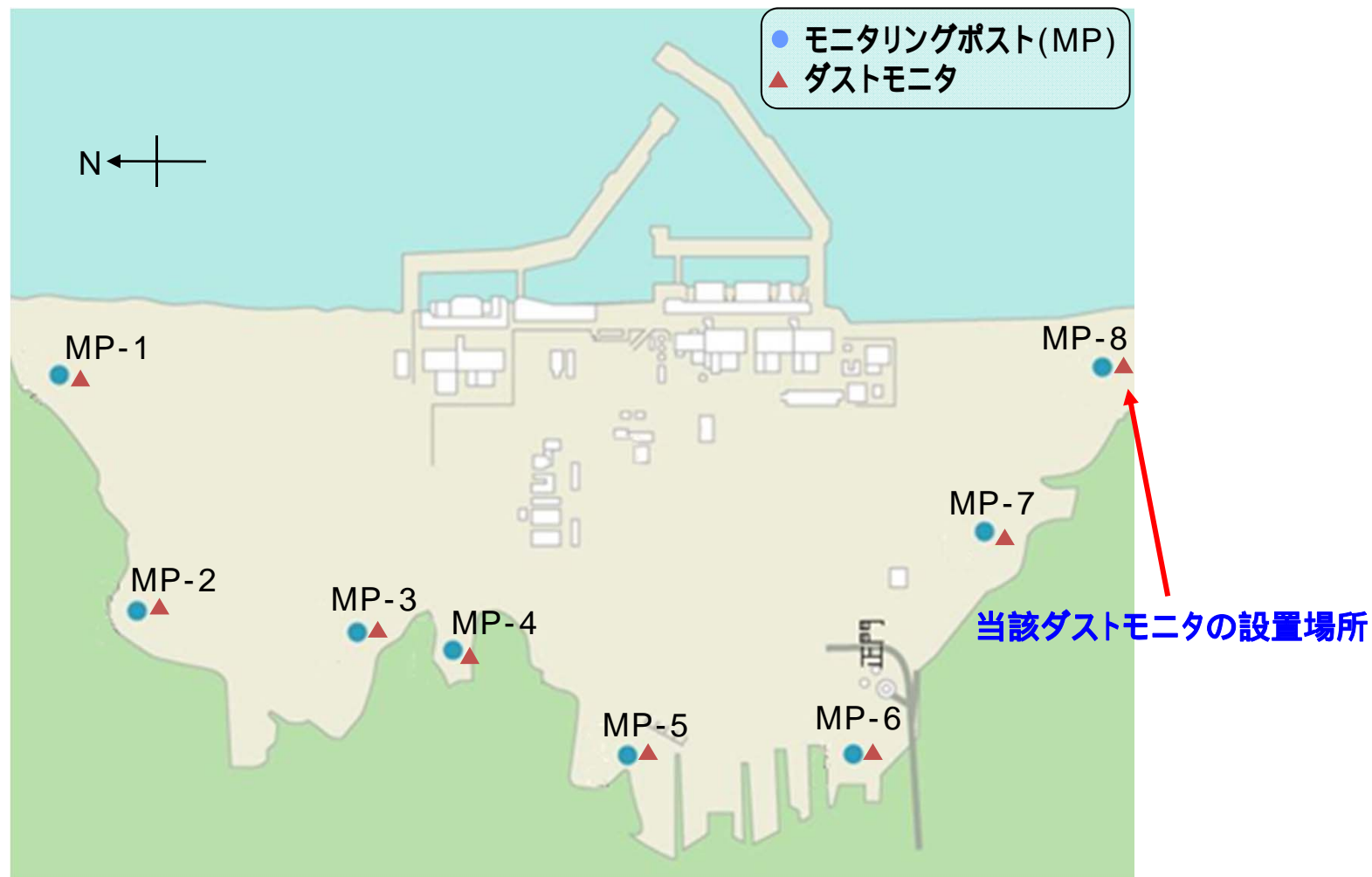
### < 発生時の状況 >

- 警報発生時、当該連続ダストモニタ以外の敷地境界ダストモニタ、モニタリングポスト、構内ダストモニタ、ならびに各プラントパラメータ等に異常なし。
- 風向が構外から吹く風（南南東）であり、構内においてダストの上昇に影響するような作業は行っていない。また、1号機原子炉建屋カバー解体作業については、主な作業は終了し片付け作業中であった。

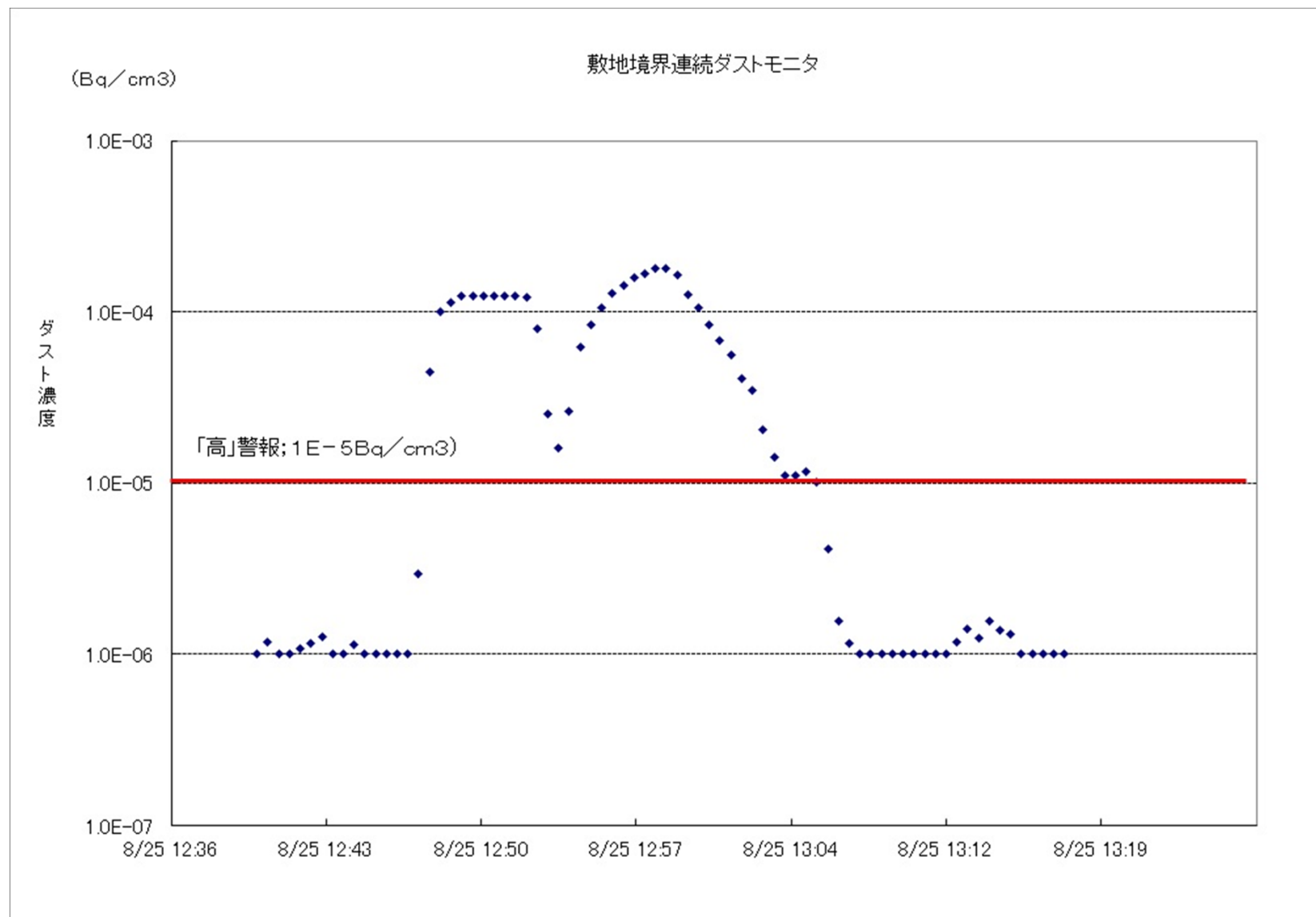
### < 今後の原因調査 >

- 当該連続ダストモニタについては、保存されている詳細データを回収し、データの確認と原因調査を行う。
- 8月2日・22日に発生した連続ダストモニタ高警報発生について、これまでの調査で水分が検出器のコネクターに付着すると指示値が上昇することが判明しており、この状況も考慮して調査を進める。

## 敷地境界ダストモニタの設置場所



# データグラフ



# (参考) ダスト上昇グラフ (HP公開)

